おかやまコープ。くらしをつくる Vol.21

生活協同組合おかやまコープ（岡山市北区奉還町）は今年、45周年を迎えました。安全・安心な商品の宅配や店舗、共済、福祉など、さまざまな形で組合員のくらしを支えています。中でも、中山間地や買い物が不便な高齢者宅など毎週商品を届ける「個配」は、安心してくらし続けられる地域社会づくりに役立っています。

近年、SDGs（持続可能な開発目標）が注目されています。「コープはエシカル（倫理的な）消費を通じて、持続可能な地域社会や環境づくりに貢献」循環型社会の形成や環境保全のため、豊かな藻場を育てる「里海づくり」や「里海米」の販売にも力を入れています。

ライフスタイルに合わせて選べる「宅配」

くらし支える商品 玄関先まで

毎週1回の個配を楽しみにしている岸本さん（右）。地域担当者の大橋さんと会話も弾む

商品カタログを見るのも楽しみ

「岸本さん、お世話になります。木曜の正午すぎ、おかやまコープの地域担当者・大橋進さん（57）の快活な声が玄関先で響きます。

備前市東部で一人暮らしをする岸本清美さん（72）にとって、毎週の楽しみがコープの個配です。

岸本さんは以前、自宅で転び左脚を骨折。膝も痛くなり、杖がないと歩けません。自転車には乗れず、車の運転免許も持っていません。バスでスーパーに行けないことはありませんが、重い物がかさばる物が買って帰るのは困難です。

岸本さんが頼りにしているのがコープの個配。米やペットボトルの飲料、牛乳、果物、冷凍うどんといった食品から、トイレットペーパーや洗剤、日用雑貨までくらしを支える商品のほぼ全てを購入。毎週多くの商品を注文していますが、大橋さんが玄関先まで運んでくれるので手軽に助かっています。冷凍・冷蔵食品は温度管理がしっかりされており、留守でも安心。「愛カードポート※」で個配7数料が半額になるのも魅力です。

岡山市内に住む娘さんが定期的に孫を連れて来てくれますが、普段あまり外出しない岸本さんにとって大橋さんとの会話は楽しみという岸本さん。「コープの食品は産地や生産者の顔が見えるので安心」と言います。

※65歳以上で、運転免許の自主返納者に支給される、おかやま愛カードを持つ方か、運転免許がない世帯が対象。

ひとときも。気兼ねなく話せるし、商品の時でも来てくれた。要望をよく聞いて一事に対応してくれます」と信頼を置いています。商品カタログを隅から隅まで見るのが

高齢者見守り「安全・安心」も

コープステーションを利用している組合員も1500人を超えました。平和活動など組合員活動に積極的に取り組む瀬戸内市の山本知代さん（49）もその一人。「所定時間内なら自分の都合のいい時に取りに行けます。働いている組合員も多く、仕事帰りに寄れるので便利。個人別に仕分けがしてあり、手数料が不要なのも魅力です」と、自宅に近い最船センターのコープステーションに注文した商品を取りに来ています。

「生活スタイルに合わせてコープステーション、個配、班配と受け取り方法を選べるのが良いですね」

山本さんは岡山市内で一人暮らしをする母親の夕食に、コープの配食サービス「たべてん便」も利用しています。「母はまだ元気ですが、最近食事づくりが面倒になってきたと聞いて使い始めました。メニューは栄養士がバランスを考えて作っており、毎日宅配しても安心です。「母が弁当を取り忘れた時には、担当者から私に電話が入りました。見守っていただけていると感じ、非常に安心です」と話します。

コープステーションで商品を受け取り車に乗り込む山本さん。所定時間内ならいつ来てもよいのが便利だ

毎日の宅配が安心感につながる「たべてん便」

山本さんがコープの食品を買うのは、「地産地消」で何よりおいしいから。組合員対象の勉強会や産地見学で「産直」なら特色を知り、安全・安心な商品を扱っていると信頼も高まりました。

おかやまコープが地産地消商品として力を入れる「里海米」にも注目。次男が小学生のころ、コープが手掛ける日生町漁協のアマモ場再生活動に2年続けて参加し、環境への理解を深めました。山本さんは「コープの里海・里山保全の取り組みを、商品を通じてより多くの人に知ってもらえるよう発信したい」と話しています。

持続可能な地域社会づくり

安心してくらし続けられる

「里海米（さとうみまい）」―地産地消・環境保全で地域活性化

農家との交流会で里海米の田植えを体験するコープ組合員の親子ら＝6月、岡山県勝央町

おかやまコープは商品の販売や環境保全活動などを通じて、持続可能な地域社会づくりの実現を応援しています。SDGsとも合致し、ベースとなるのが岡山県内で生産された鹿水畜産物や加工品を地域で消費する「地産地消」。その中で、今後育てていきたい商品として「里海米」の販売に力を入れています。

里海米の生産販売を手掛ける、おかやまコープも主要メンバーの「瀬戸内ささえあい農業協同組合（JA）」（事務局・JA全農おかやま）によると、2018年の県内生産量は8445トン（前年の3・4倍）に急増。今年はさらに倍増を見込んでいます。全農おかやま農産部の小原久典次長は「全国で産地間競争が激化する中、里海米は環境保全の取り組みにつながる新たなコンセプトの米。コープさんによる組合員への普及啓発もあって反響は大きい」と手応えを口にします。

おかやまコープは県内の食材を使った食品を「おかやま育ち」のブランドを付けて販売しており、里海米も同ブランドで組合員に普及を図ります。昨年までは限定的な扱いでしたが、「里海」と「里山」を結び付け、エシカル消費を推進する商品＝位置づけ、販売を通じてその意義をPRしていく方針です。

里海米の誕生は、おかやまコープが長年共に取り組んできた里海づくりが下地となっています。コープは、魚介類の産卵や育場となるアマモ場の再生に1985年から努める日生町漁協（備前市）と連携。毎年組合員を募り、アマモの回収や種取り、種まきなどを行ってきました。さらに、邑久町漁協（瀬戸内市）、笠岡市漁協の再生活動にもその輪が広がっています。また、里海再生のための基金を設立し「岸本県の環境調査事業」にその一部を寄付しています。

そうした中、地元の特産品である カキの殻を使った土壌改良に岡山県内のJA少グループが着目、農業生産に活用し始めました。山と海の自然は循環し有機的に結び付いています。里海米プロジェクトは海の資源を農産物に有効利用し、地域活性化につなげる試みと言えます。「日生町漁協の天倉辰己専務理事は「農業者と行政、コープの"四位一体"で、次世代へ豊かな自然を残していきたい」と話しています。

日生町漁協のアマモ種取りに参加するコープ組合員の親子ら

里海米　岡山県内の漁協などで廃棄されるカキ殻を粉末化、土壌改良剤に使って栽培した県産米。根や茎が太くなるので倒伏が減し、収量や品質も高まるという。岡山県内のJAグループが2016年からブランド化を進めてきた。

里海　人の手が加わることで環境が適切に維持され、生物の生産性と多様性が高まった海。

山と海をつなげ新しい価値を

真庭市
産業観光部長
新田 直人氏

自然は循環し、里山は里海とつながっています。真庭市は森林資源を生かした「里山資本主義の町」を目指していますが、川上に住む我々が環境を汚すと川下の人々に迷惑をかけてしまいます。里海の大切さを知るためにも、山と海の産業を結び付けて新しい価値を生み出せないか、と取り組んだのが「里海米」づくりです。

始めてまだ3年目ですが、今年から「真庭里海米」という真庭市のプライベートブランド米を本格販売します。おかやまコープさんには5㌧。袋入りの無洗米約30㌧。を販売していただきます。同時にコープの組合員さんへの意識づけにも期待しています。2月には市内の農業者と組合員さんが一緒に備前市日生町にバスツアーをし、里海づくりを学んでもらいました。

里海米は、地域の環境と経済を両立させ里山のくらしを永続させるのが狙い。SDGsの理念にも沿う商品です。その仕組みづくりのために、おかやまコープさんの協力で消費者とつながれたら非常にありがたいです。

エシカルのこと

私たち一人ひとりが商品に込められた想いに共感して買い物をすることで、社会への貢献につながり、私と誰かの笑顔につながります。

おかやまコープは、こんな未来を変える可能性を秘めた「エシカルなお買い物」を地域、社会、環境、人々の4つの視点で進めています。

ビジョン通しSDGs達成に貢献を

おかやまコープは、今後のありたい姿としてビジョン「つながり育む 笑顔広がる 豊かなくらし」と22の実現目標を掲げています。そのビジョンの目指す事業や活動は、国連で採択された「SDGs」と重なり合うものがたくさんあります。

おかやまコープは、行政や諸団体と力を合わせて、SDGsに関わる取り組みを進めていきます。

SDGsとは、2015年国連において「今、全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、発展途上国・先進国にかかわらず、世界中全ての人々が目指すべきゴールです。

コープのお店

「おいしいお店」をコンセプトに県内11店舗を展開し、ふだんの食卓に欠かせない食品を中心に、安全・安心のコープ商品や産直商品など新鮮でお買い得な商品を取りそろえています。

個　配

重たいものも、かさばるものも、玄関先までお届けします。冷凍・冷蔵箱に入れてお届けするので、お留守の場合も安心。各種サポート割引も充実しています。

班　配

お友達・ご近所・職場など、「班（グループ）」をつくって利用することで、配達手数料がかからない受け取り方法です。

コープステーション

ご注文商品を、毎週決まったステーション（岡山県内36カ所）まで取りに来ていただくシステム。登録した曜日の所定時間内であれば、いつでも受け取ることができます。商品の仕分けをする必要はなく、手数料は無料です。

夕食宅配弁当「たべてん便」

栄養バランスに気を配ったお弁当をご自宅までお届けします。配達料は不要です。

⬅宅配に関する詳細はこちらから！
お問い合わせ
0120-662-538
月～金曜 8:30～21:00　土曜 8:30～18:00

選べる利用方法

企画・制作／山陽新聞社広告本部